

令和元年度中学生チャレンジテスト

第2学年 国語

注意

- 1 調査問題は、1ページから26ページまであります。先生の合図があるまで、調査問題を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙⑥（国語）に記入してください。
- 3 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 5 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。また、解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 6 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 7 解答用紙の「生徒記入欄」に、組、出席番号を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 8 調査時間は45分です。

問題は、次のページから始まります。

㊦ 次の1～4の問いに答えなさい。

1 行書で書かれた次の漢字を楷書かいしょで正しく一画一画ていねいに書きなさい。

海

2 次の文章の①と②に入る適切なものを、あとのア～エからそれぞれ一つ選びなさい。

私は伝えたい内容が明確になるように、次のAの文をBの文に書きかえました。Bの文の方が、星空の美しさがより強調されています。これは「美しい」という①を、「美しさ」という②にかえているためです。

A	私は美しい星空に感動した。
B	私は星空の美しさに感動した。

ア 名詞

イ 連体詞

ウ 形容詞

エ 形容動詞

3 「心を引かれる」の意味として適しているものを、あとのア～エから一つ選びなさい。また、選んだ意味をもとに、「心を引かれる（心を引かれた）」を文末に用いた一文を書きなさい。なお、「心を引かれる（心を引かれた）」の主語を明らかにした上で、「誰（何）」の「どのようなこと」に「心を引かれる（心を引かれた）」のかが分かるように書くこと。

- ア 気持ちを大きく持って相手の思いを受け入れる。
- イ 苦しんだり迷ったりして、気持ちがかき乱される。
- ウ みんなが気持ちを同じ目的・方向に向けて協力し合う。
- エ ある人や物事に関心・好意を持ち、気持ちがそちらに向く。

4 次の①～③の文中の——線部のカタカナを文の内容に合うように、漢字に直し楷書でていねいに書きなさい。

- ① キビしい暑さに耐える。
- ② カレーがセンモンの店。
- ③ 組織のキボを大きくする。



次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文は、サクラの「越冬芽」の働きについて書かれたものです。サクラは越冬芽という硬い芽の中にツボミを包み込みます。越冬芽は、冬の寒さに耐えるためにつくられる芽です。ツボミは、越冬芽の中に包み込まれて、寒さに耐え、花を咲かせる時期を待つのです。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(田中 修 『植物はすごい 七不思議編』による)

1 本文中の 〰 線部 a c の漢字の正しい読みをひらがなでいねいに書きなさい。

a 比 べ

b 神 経

c 手 段

2 本文中の A B C に入る言葉の組み合わせとして最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

	A	B	C
ア	そして	しかし	では
イ	しかし	そして	では
ウ	しかし	では	そして
エ	では	そして	しかし

3 次の文章は本文中の「あ」も「え」のいずれかの箇所に入りますが、どこに入りますか。「あ」も「え」から一つ選びなさい。

越冬芽は冬の寒さをしのぐためのものですから、冬の寒さが訪れる前につくられねばなりません。気温が低くなり、寒くなってから急いで越冬芽をつくることのできるほど、サクラの反応は鋭敏ではありません。

4 本文中の——線部①と、同じ意味を表す言葉を本文中より二字で抜き出しなさい。

5 本文中の 、 にあてはまる言葉の組み合わせとして最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア	秋	春	D	—	E
イ	秋	冬			
ウ	夏	冬			
エ	夏	春			

6 本文を読み、秋の間にサクラの越冬芽えつどうがができるしくみについて、次の に入
る言葉を、あとの条件にし
たがって書きなさい。

サクラは、

こうしてサクラの越冬芽ができるのです。

条件1 夜の長さ、ニカ月、アブシシン酸という三つの言葉を使うこと。

条件2 四十字以上、六十字以内で書くこと。

問題は、次のページに続きます。

【三】 山田さんが所属する環境委員会は、地域でカラスによるゴミの散乱の被害が増えていることから、カラスの被害防止について壁新聞をつくりました。次の【壁新聞】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【壁新聞】

環境委員会新聞

令和元年
(2019)
秋号
環境委員会

あ



最近、この地域ではカラスによってゴミ袋を荒らされる被害が増えています。そこで環境委員会では、被害を防ぐために、図書館でカラスの生態やおもな被害、対応策について調べ、地域の人から聞きとりをして、私たちにできることを考えてまとめました。

カラスの生態と数の増加

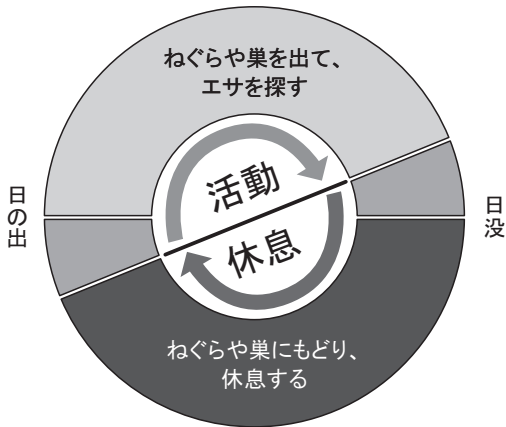
カラスは、肉も野菜も穀物も食べる野鳥です。

人間が出すゴミの中にエサになるものがあることを学習し、私たちの生活圏で増えているのです。

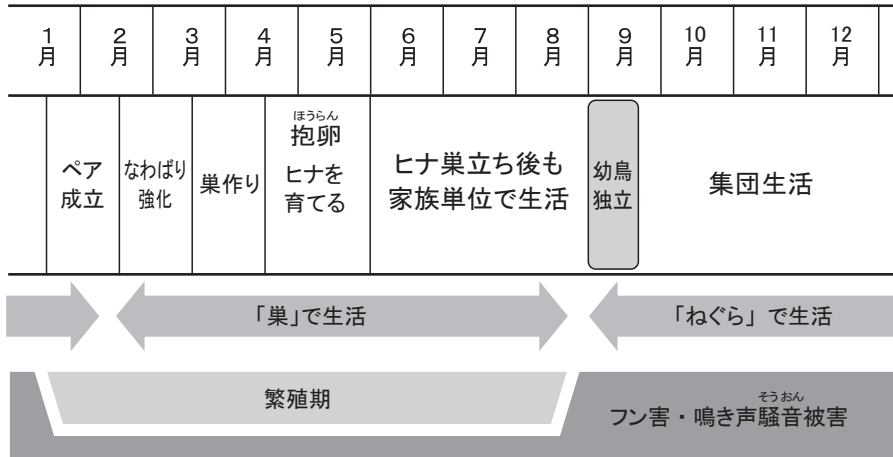
カラスの生活サイクル

カラスは、早朝のうちに「ねぐら」や「巣」を出て、日中のほとんどの時間、エサを探しています。繁殖期は、夜も巣でヒナを育てます。ヒナは巣立った後もしばらくの間、親鳥と過ごします。

図Ⅰ カラスの一日



図Ⅱ カラスの一年



カラスによるおもな被害

○ ゴミを散らかす

カラスは、人が少ない早朝に、ゴミ袋の中の生ゴミなどエサになる物をねらいゴミ集積所を荒らします。ゴミが周辺に散乱し、見苦しいだけでなく、道に広がり、通行の妨げとなつて危険です。

○ 鳴き声騒音、フン害の拡大

カラスは、繁殖期を終えると、集団で行動します。

①

また、フンも大量になり、汚れや匂いの迷惑に加え、病気の原因にもなります。

○ 人を襲うこともある

本来は人を怖がるカラスも、春先の巣作りから、ヒナを育てている間は攻撃的になります。巣に近づいたり、刺激したりすると大変危険です。

私たちが学んだこと

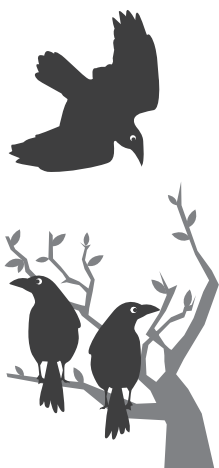
私たちは、カラスによる被害とその防止策を中心に新聞づくりをすめてきました。

しかし、地域の竹内さんの話を聞いて、

②

ことに気づきました。

カラスによる被害を少なくするには、まず、私たちが日々の生活のありかたを見直し、カラスと人間の距離感について改めて考えてみる必要があると感じました。



図Ⅲ

できることから始めましょう

A ゴミ出しのルールを守る

- ・ ゴミは収集日の朝に、生ゴミは見えないようにして出す
- ・ 防鳥ネットは隙間なくかぶせる

B 生ゴミを増やさない

- ・ 食べ残しをしない
- ・ 食品は必要な分量を買い、捨てる量を減らす

C エサになるものを外に置かない

- ・ ペットのエサを屋外に放置しない
- ・ 食べられるものを捨てない

D 繁殖期は刺激しない

- ・ 巣にイタズラをしない
- ・ 威嚇されてもあわてず、カラスから視線を外さずに静かに離れる

(杉田昭栄『人はなぜカラスとともだちになれないの?』などにより作成)

1 次のア～エのうち、【壁新聞】中の に書かれている内容について説明したものと、適していないものを一つ選びなさい。

- ア 今回の壁新聞を作成する目的について述べている。
- イ 今回の壁新聞を作成する際の苦労や失敗について述べている。
- ウ 今回の壁新聞を作成する際の調査の方法について述べている。
- エ 今回の壁新聞を作成するきっかけについて述べている。

2 【壁新聞】中の ① の部分には、もともと次の二文が書かれていましたが、前後の段落とのバランスをとるために一文に書きかえました。 ① に入る一文を、前後の文体に合わせて、意味が変わらないように書きなさい。

カラスは、夜明け前や日暮れごろに集まって鳴き交かわす。だから、騒音被害そうおんひがいが深刻になる。

3 【壁新聞】 中の~~~~線部の記事の内容と関連の深い図および図Ⅲの囲み記事の組み合わせとして最も適している

ものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア	図Ⅰ	図Ⅰ	図Ⅰ	図Ⅰ	図Ⅰ
イ	図Ⅰ	図Ⅰ	図Ⅰ	図Ⅰ	図Ⅰ
ウ	図Ⅱ	図Ⅱ	図Ⅱ	図Ⅱ	図Ⅱ
エ	図Ⅱ	図Ⅱ	図Ⅱ	図Ⅱ	図Ⅱ
	□A	□B	□C	□D	□Ⅲの記事

4 【壁新聞】^{かべ}の全体の内容をまとめるような見出し ㊦ に入れる適切な言葉を、次の条件にしたがって書き

なさい。

条件1 知る、防ぐの二つの言葉を使い、行動を呼びかけるように書くこと。ただし、使う言葉は必要に応じて活用させてもよい。

条件2 十字以上、二十字以内で書くこと。

5

山田さんたち環境委員会のメンバーは、新聞作成にあたり、地域の竹内さんから次のような話を聞かせてもらいました。【壁新聞】中の②に入る言葉を、あとの条件にしたがって書きなさい。

【竹内さんの話】

わしらが若かったころ、このあたりには田んぼや畑がたくさんあって、今みたいな住宅ばかりの町ではなかったよ。田んぼや畑を耕していると、カラスが少し離れた所に降りてきて、土の中から出てきたミミズやカエルをつついたりしていたけれど、数は今ほど多くはなかったなあ。それにカラスたちは、日暮れ前には必ず鳴きながら山や森に帰っていったから、時計なんかなくなって、カラスが鳴いたら子どもたちも家に帰ってきたしね。

よく見かけるけれど、どちらかと言えば、ほどよい距離感きよりを保って共存できていた鳥だったよ。町に家やマンションが建ったり、お店が増えたりして、人の生活もぜいたくになって、カラスのエサになるゴミが増えたことが、町に住むカラスが増えた原因のように思うよ。そして、そのゴミを出しているのは、人間だよ。カラスに泣かされていると感じている人もいるかもしれないけれど、人間に勝手に悪者にされて、カラスも泣いているかもしれないね。

条件1 【竹内さんの話】中の~~~~線部の意味を考えて、「ここに気づきました。」につながるように書くこと。

条件2 原因、生活の変化の二つの言葉を使って書くこと。

条件3 前後の文体に合わせて、三十字以上、五十字以内で書くこと。

【四】 中学二年生の大野さんは、職場体験についてスピーチをすることになりました。次の【実際に話した内容】は、同じ

班の小林さんと木村さんの前で大野さんがスピーチのリハーサルをしたときのものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【実際に話した内容】

二日間の職場体験で私は保育園に行くことになりました。私は、「子どもと一緒に歌を歌ったり遊んだりしたいな。よし、楽しむぞ!」と思っていたのですが、思っていた以上に園児と接するのは大変でした。

職場体験一日目、私は二歳児クラスに入らせていただきました。入ってしばらくのうちは、話しかけても返事がなく、「あっちへ行こう」と言っても動いてくれず、困ってしまいました。すると保育士の山口先生が、^①「しゃがんで話をしたらよいということをお教えました。そこで、私は園児に対し、しゃがんで話すようにしてみました。ほとんどの園児たちは私の話を聞いてくれるようになりました。」

少し打ち解けてきたところで、マラカス作りの時間になりました。そのとき作ったマラカスは、こちらです。ペットボトルの中にビーズやどんぐりなどを入れ、振ったら音が鳴るようにしています。(マラカスを見せて鳴らす)簡単に思えるかもしれませんが、二歳児にとってはシールをめくったり貼ったりするだけでも難しいのです。実際、途中で作業が進まなくなった園児が二人いました。この二人には、しゃがんで話しかけても、言うことをきいてくれませんでした。たとえば「頑張ろう!」と言ったら「イヤ!」、「シールを剥がすのを手伝うよ。」と言っても「イヤッ!」、「イヤ!」って言ったからだだよ。」と注意すると、「イヤ——!」。そうして、二人とも私から逃げてしまい、その日二人はマラカスを作ることができませんでした。私は園児と楽し



[作ったマラカス]

い時間を過ごしたかったのに、悪いことをしてしまったような気がして、とても悲しい気持ちになりました。

そこで私は園児が帰ったあと、マラカスを作りきれなかったAちゃんとBちゃんに対し、どう接したらよかったのかを山口先生に質問してみました。すると山口先生は「大野さんはAちゃんとBちゃんに向き合おうとしてくれていたのですね。その気持ちはとてもうれいのです。実は、園児のやる気を引き出す方法はひとつに決まっているわけではなく、私達保育士もどのような方法をとればよいのか、日々考えています。ただ、私であれば、二人とも本人なりに頑張っているの『頑張れ。』は言いません。例えばAちゃんは自分の力で挑戦ちゆうせんしたい子だから、本人が求めてこない限りできるだけ行動を見守る。Bちゃんは慎重派しんちょうぱだから『そうだね、いやだったね。』と本人の気持ちに寄り添った上で『でもBちゃんなら大丈夫だよ。』と励はげましてみる。そのような言葉かけをしていくかと思えます。今日はうまくいかなかったかもしれませんが、明日になればAちゃんもBちゃんも新しい気持ちで保育園に来ます。大野さんも今の話を参考にして二人に接してみたらよいかもしれませんよ。』とお話していただきました。先生のお話を聞いて「園児によってやる気を引き出す言葉は違うのか……、園児の気持ちや性格を理解して接している保育士の先生ってすごいなあ。」と、尊敬の念を抱いだくと同時に、よし、明日は頑張るぞ！という前向きな気持ちになりました。

そして職場体験の二日目、マラカスを作り切れなかったAちゃんとBちゃんに対し、私は山口先生に教えてもらったことを意識して接し方を変えてみました。結果はどうだったと思いますか。はい、山口先生が教えてくださったような園児に対する言葉かけは、AちゃんとBちゃんのやる気を引き出すことにとっても有効②でした。二日目の最後は、作ったマラカスを使って二歳児全員でソーラン節わづを踊ることができました。その時の園児たちの笑顔は今でも心に残っています。

今回、私の職場体験は、はじめのころはうまく行かず大変でした。しかし、山口先生にどうすればよいかヒントを教えていただいたことで発見もあり、最終的に楽しくよい体験になりました。三年生の家庭科の授業でも保育体験があると聞いています。今回の経験をいかし、もっとよい時間を園児と過ごせるようにしていきたいです。

1 スピーチの際に分かりやすい話し方として**適**して**い**ないものを、次のア〜エから一つ選えらびなさい。

- ア 伝えたい内容や相手に応じて、声の大きさを工夫くわうして話す。
- イ 話が伝わっているかどうか、聞き手の反応を確かめながら話す。
- ウ 共感してもらえないように、身振りや表情を意識して話す。
- エ 間違えないように、最初から最後まで原稿げんこうを見ながら一定の速度で話す。

2 スピーチのリハーサル後、木村さんと小林さんは、それぞれ次のような質問をしました。木村さんと小林さんの質問の意図として最も適しているものを、あとのア〜エから一つ選びなさい。

木村さん 「売っているマラカスを使わないで、わざわざ園児に手作りをさせる理由は何なのでしょうか。」

小林さん 「職場体験で私は病院に行き、看護師さんたちのチームワークのよさに驚きました。保育士の先生たちのチームワークはどうでしたか。」

ア 木村さんは大野さんの説明の誤りを指摘しめてきするために質問し、小林さんは自分の体験と比較ひかくするために質問している。

イ 木村さんは説明を聞いて生じた疑問を解決するために質問し、小林さんは自分の体験と比較するために質問している。

ウ 木村さんは説明を聞いて生じた疑問を解決するために質問し、小林さんは発表の要点を確かめるために質問している。

エ 木村さんは大野さんの発表の要点を確かめるために質問し、小林さんは大野さんの説明の矛盾を指摘するために質問している。

3 大野さんはスピーチのリハーサル後、木村さんから【実際に話した内容】中の——線部①についてアドバイス
をもらい、本番では、次の□のように話すことにしました。大野さんは木村さんからのようなアドバイ
スをされたのでしょうか。「というアドバイス。」で終わるように書きなさい。

立ったまま話をされた場合、小さい子どもは相手を怖く感じることもあるそうです。私は立ったまま話をして
いたので、園児に怖い印象を与えていたのかもしれないね。

4 大野さんはスピーチのリハーサル後に小林さんから【実際に話した内容】中の——線部②の意味が分かりづら
かったという感想をもらいました。どのような言葉に直すとよいですか。次の文中の□に入る適切な言葉
を書きなさい。

AちゃんとBちゃんのやる気を引き出すことにとても□。

問題は、次のページに続きます。

5 大野さんのスピーチのリハーサル後、大野さんと班員で話し合い、大野さんのスピーチに見られた工夫くふうやその効果を、次のような【表】で整理することにしました。【表】中のⅠ、Ⅱ、Ⅲに入る文の組み合わせとして、最も適しているものを一つ選びなさい。

【表】

スピーチに見られた工夫	工夫による効果
<ul style="list-style-type: none"> ○ 作ったマラカスを見せたり音を聞かせたりした。 ○ スピーチの中で、聞き手に質問を投げかけた。 	<p>聞き手の興味や関心を引き付けた。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分や園児が実際に話した言葉を用いた。 	<p style="text-align: center;">Ⅰ</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ はじめに大変だった内容と、あとに楽しかった内容の両方を話した。 	<p style="text-align: center;">Ⅱ</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 最初に何について話をするのかを伝えた。 ○ 時間的な流れに沿って伝えた。 	<p style="text-align: center;">Ⅲ</p>

- ① どこまで話が進んでいるかを、聞き手にわかりやすくした。
- ② 音や色などがどうであったかが、聞き手によく伝わった。
- ③ 職場体験全体を通しての心情の変化が、聞き手によく伝わった。
- ④ どのような状況じょうきょうだったかが、臨場感りんぱうかんをもっていきいきと伝わった。

エ	ウ	イ	ア
I	I	I	I
①	④	①	④
II	II	II	II
③	①	④	③
III	III	III	III
②	②	③	①

6 大野さんのスピーチのリハーサル後、特に心に残ったことを伝えることになりました。あなたならどのように伝えますか。【感想】中の に入る内容をあとの条件にしたがって書きなさい。

【感想】

大野さんの職場体験のお話を聞いて、大野さんがよい体験をしたことがわかりました。

特に、

素晴らしいお話だと思いました。本番も自信をもって頑張^{がんば}ってください。

条件1 【実際に話した内容】の大野さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。

条件2 大野さんが職場体験で学んだことに着目して、特に心に残ったことを書くこと。

条件3 「特に、」に続けて、五十文字以上、八十文字以内で実際に話すように書くこと。

問題は、次のページに続きます。

【五】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（なお、設問の都合で、古文中の「」の一部を省略しています。）

著作権者への配慮から掲載を控えております。

『伊會保物語』による

1 本文中の~~~~~線部を現代かなづかいに直して、すべてひらがなで書きなさい。

2 本文中——線部①は誰の膝をさしているか、本文中から二字で抜き出しなさい。

3 本文中の——線部②・④を現代語に直したとき、「馬」の後ろに入る同じ単語として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア に イ を ウ が エ へ

4 本文中の——線部③について、思いさだめたことは「あつぱれ から始まります。終わりの部分に分かるよう、解答欄に」を書き入れなさい。

5 本文中の——線部⑤について、考えられる理由として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア ある人から主人が預かった子犬にやきもちを焼いた馬が、主人にとびかかり、顔をなめるなどしたから。
- イ 馬が、小さな子犬だけをかawaiiがる主人に腹を立ててとびかかり、顔をなめるなどしたから。
- ウ 勝手に厩から出てきた馬が、出かけようとすする主人にとびかかり、顔をなめるなどしたから。
- エ 馬が、小さな子犬のまねをして主人にとびかかり、顔をなめるなどしたから。